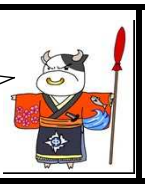
気仙沼市立津谷中学校　防災通信

備えあれば憂いなし



令和３年２月１６日（火）
第　６　号（不定期）
文責　藤田

福島・宮城で震度６強
気仙沼市は震度４

～非常災害時の避難場所，連絡方法等の再確認を！～

２月１３日（土）午後１１時８分に最大震度６強の地震が発生しました。気象庁から「震源地は福島県沖で震源の深さは約６０km，地震の規模（マグニチュード：以下，M）は７．３で津波の心配はなし。今後１週間程度，震度６強の地震が発生する可能性があるため，注意が必要である。」との発表がありました。地震発生後，校地内を点検し，異状は確認されなかったため，翌日の部活動は予定通り実施いたしました。

福島県では，常磐自動車道が土砂崩れのため通行止めになりました。県内では，塩竈市内で火災が発生したり，石巻で水道管が破裂し，道路から水が噴き上がったりする映像がテレビで放映されていました。

今回の地震と１０年前の東日本大震災を，気仙沼市の視点で比較してみました。

発生日時	2021（令和３）年２月 13 日（土）23 時９分	2011（平成 23）年３月 11 日（金）14 時 46 分
震度（規模）	震度４（M7.3）	震度５強（M9.0）
震源（深さ）	福島県沖（約 60 km）	宮城県沖（約 24 km）
警報・注意報	発令させず	大津波警報
死者数（行方不明）	０人　（未確定）	1,432 人（214 人）※R31.31 現在で関連死含む
気になる事実	・約１週間前，バヌアツ（南半球）で地震発生（津波なし）	・２月にチリ（南半球）で地震発生（注意報が発令され，気仙沼港で津波約３０cm） ・３月９日（２日前）M7.3 の地震発生

５月 25 日に発行した防災通信（第１号）に「４月２２日（水）の河北新報に「三陸沖など日本・千島海溝沿いでマグニチュード９クラスの巨大地震が起きた場合，岩手県と北海道で最大30m近い津波が到達するとの想定を２１日，内閣府の有識者会議がと公表した。（中略）宮城県では，「気仙沼の小泉海岸付近には県内最大の１５．３mの津波が押し寄せると推計されている。発生の確率については「切迫した状況」と説明した。（中略）東日本大震災後に整備した防潮堤は全て破壊されることを前提で推計。復興事業でかさ上げした沿岸部が浸水する恐れがある。」と掲載しました。

昨年２月下旬に，政府の地震研究調査推進本部が宮城県沖で「30年以内に M7 クラスの地震が発生する確率は 90 %」と発表しました。そして，30 年以内に M7 クラスの地震が発生しました。「確率」は起こりやすさを数値化してものであり，「絶対起こる，起こらない。」ではありません。地震は，いつどこで起こるか分かりません。**今回の地震を機会に，年度当初に配布した「非常災害時における津谷中学校の対応について（令和2年度）」（左図）を基に再度，避難場所や連絡方法等について，家族で確認してみてください。**

非常災害時における
津谷中学校の対応について（令和2年度版）

■登校前・下校後（自宅にいるとき）に災害が発生した場合

■登校・下校途中に災害が発生した場合

■学校にいるときに災害が発生した場合

■引取人・避難場所

■臨時休業を行う場合

■解除の場合

■電話・メールが不通になった場合

気仙沼市立津谷中学校
TEL 0226-(42)-2444
FAX 0226-(42)-2445